創薬の不可能を可能にする 中分子ペプチド医薬

低分子と抗体の利点を兼ね備えた新モダリティで活性化・機能阻害・分子間相互作用を自在に操る!

序にかえて ペプチド創薬と治療薬開発のさらなる進展に 期待する!	
総論 中分子ペプチド医薬の歴史と展望 一中分子ペプチド医薬が明日の医療を拓く 玉村啓和	10 (144)
第1章 新規ペプチドの設計・合成・探索	
I. 設計	
1. In vitro における遺伝暗号リプログラミング技術平嶋瞭一, 加藤敬行	19 (153)
2. 天然物ペプチドを真似た人工ペプチド:擬天然ペプチド薬剤の創製	()
3. 天然由来二環式ペプチドを基盤とする医薬品分子設計	27 (161)
	35 (169)
Ⅱ.合成・展開	
4. 脱保護工程を挟まない高効率フローペプチド合成 布施新一郎	43 (177)
5. ペプチドを基盤とした標的タンパク質光不活化とその医薬展開 	50 (184)
6. タンパク質の機能を制御する環状ペプチドの合成・探索	

CONTENTS

7. 均一糖鎖構造をもつ糖タンパク質の精密合成と機能解析		
平尾宏太郎,真木勇太,梶原康兒	₹ 64	(198)
8. 副反応を出発点とするペプチド側鎖修飾反応 大高 章	至 71	(205)
9. ペプチド 系複雑天然物の全合成とその応用展開 伊藤寛晃. 井上将行	ī 78	(212)
Ⅲ. 探索・シミュレーション		
10. 中分子ペプチド医薬の膜透過性予測 秋山 教	₹ 85	(219)
11. ペプチドライブラリー構築と機能性分子の探索 大河内美奈	₹ 92	(226)
第2章 薬理活性の創出		
1. 代謝調節に関連する生体ペプチドを基軸とした創薬研究――――高山健太良	ß 98	(232)
2. マイトクリプタイドと急性炎症治療を指向した革新的創薬		
一新規自然免疫トリガー因子の発見と難治性組織傷害治療への適用 	<u> </u>	(238)
3. 人工抗体の開発	谷 113	(247)
4. 環状ペプチドに基づくサイトカインミメティクス	<u>以</u> 121	(255)
5. ユビキチンを用いたラッソグラフト分子改良の新戦略		
	月 128	(262)
第3章 デリバリー・膜透過改善への取り組み		
第3章 デリバリー・膜透過改善への取り組み		
1. 膜透過・経口吸収可能な環状中分子ペプチドの創薬展開		
	製 135	(269)
2. 生理活性ペプチドの DDS 勝見英正	Ë 144	(278)

3.	受動的に膜を透過するペプチド型中分子 環状ペプチドとペプトイド	. 杰太洁亚	151 (285)
4.	局在性小分子・ペプチドによるタンパク質局在制御	林华仔!	101 (200)
		王 笑桐	157 (291)
5.	小腸吸収・脳関門透過を促進するDDSキャリア	·伊藤慎悟	165 (299)
第4	章 疾患治療への応用・将来の創薬への課題		
1.	骨形成・骨再生を促進するペプチド医薬		
	久保優里,陳德容,謝倉右,	青木和広	171 (305)
2.	ナトリウム利尿ペプチドとペプチド医薬		
	小川治夫, 古谷真優美, 錦見俊雄,	南野直人	179 (313)
3.	進化する2型糖尿病・肥満症に対するペプチド創薬		
	一GIP/GLP-1 デュアルアゴニストの登場 安田拓真,池口絵理,	矢部大介	188 (322)
4.	中分子ペプチド医薬品の規制ガイドラインの現状と課題・展望		
		·出水庸介	197 (331)
索	5 I		203 (337)